

特集

「そもそも拘束しない」前提に立ったら 知恵と工夫が編み出されて 実現できてしまった病棟の話

貝田博之（松蔭病院 精神科認定看護師）、白鳥浩二（同・看護部長）

取材：渡邊貴史（南知多病院 精神科認定看護師）

特別記事

オープンダイアログをめぐる最新の翻訳書 『開かれた対話と未来』の 読書会を誌面で再現

斎藤 環（筑波大学・教授）

新連載

今あらためて知ってほしい
「精神科認定看護師の会」のこと。
◎小成祐介、山根俊恵

レポート

地域に出たら、作業療法士として
こんなにできることが広がった
◎生田真衣
（訪問看護ステーション和来・作業療法士）

新連載

精神科訪問看護で働くことになった
1年目の人が、知っておくとよい
病院との違い
◎小瀬古伸幸
（訪問看護ステーションみのり・統括所長）

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

▶取材がけっこう立て込んだ11月でした。訪問看護ステーションの利用者さんがデイケアとして農作業をやっているとかがって、南知多半島まで行って写真撮影させていただきました。そして自分も久しぶりに土に触れる農作業をしたのですが……雑草を抜き、にんにくの苗木に栄養たっぷりの土をかけ、光合成を邪魔しないように葉から土を振り落とすという地道な作業だったのですが、たった2時間やっただけで情けないことに腰がもう限界に。しかも広大な土地のたった2レーンすら終えられないという現実を衝撃を受けました。貢献度が低い自分でしたが、最後は焚火で焼いた甘い焼き芋のごほうびにすっかりあずかりました。▶使役になるから、という理由で精神科病院から農業や軽作業が消えていった歴史があります。でも、農業というのは土に対して人間が圧倒的に小さく、そして土から惜しげもなく贈与されていることを実感できる体験です。それは人から得られる癒しとはまた違った種類の癒しです。精神科においてもっと土に触れる体験、または農業の復活があったらよいのでは、と個人的には感じています。▶塩月玲奈さんの好評連載「うんこあるある」。フレッシュなうんこネタを溜めようということで今回はお休みです。もともとは読者の皆さんからびっくりうんこエピソードを投稿してもらって、それに塩月さんがコメントする形で「精神科のうんこ問題」を考えていこうという構想がありました。あらためて、皆さんからのうんこにまつわる面白い、困った、びっくり、などのさまざまな経験を募集します。seikan@igaku-shoin.co.jpまで!【石川】

【今月号の表紙】color of the sky

精神看護 第23巻第1号 2020年1月15日発行（隔月刊） 発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2020, Printed in Japan 販売・PR部：☎03-3817-5659
「精神看護」編集室：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp
本文・表紙デザイン：高見清史（view from above） 表紙・目次写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード
1部定価：本体1,400円＋税
2020年年間購読料（送料弊社負担、年間6冊）：本体7,080円＋税（冊子版）／本体10,080円＋税（冊子＋電子版／個人）／本体7,080円＋税（電子版／個人）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】（出版者著作権管理機構 委託出版物）

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@copy.or.jp）の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。